

## 今年の漢字




広報委員

津永 長門

年の瀬を迎え、今年も残すところあとわずかとなりました。12月12日は「漢字の日」で、「1(いい) 2(字) 1(一) 2(字)」の語呂合わせになるのだそうで、毎年、この日にあわせ、今年を象徴する漢字1字を全国から募集し、京都の清水寺で発表するのが年末の風物詩になっています。私も当たったことはありませんが、今年を振り返り、予想してみましよう。

今年の主役の一人は間違いなく1月に就任したトランプ大統領でしょう。よくこれだけ無茶苦茶をして大統領にとどまれているのか理解不能です。アメリカは不思議な国ですね。北朝鮮とのチキンレースでレッドラインを越えないか、日本も対岸の火事とは言ってられない状況で心配です。

昨年に引き続き、男女の不適切な関係も話題になりました。芸能人ならまだしも、政治家の先生も、国会ではなく某所で政策論議をされるそうで、「一線を越えてない」と言われても、信じる有権者はいるのでしょうか。

総選挙は、希望の党の敵失で、自民党の圧勝で終わりました。自分の主張と相容れない人を線引きするための「排除します」の一言で流れが変わったのには、言葉の怖さを教えさせられました。

明るい話題としては、将棋の藤井聡太 四段がプロ入り後、一直線に29連勝したことです。このまま勝ち続けてほしいという国民の気持ちを忖度しないプロの世界での記録は素晴らしいですね。

医療界では、医師の働き方改革と残業時間が大

きな問題になりました。労災認定の目安といわれる月100時間の過労死ラインを大きく上回る医師の時間外労働の実態が報道されるようになりました。国立循環器病研究センターが時間外労働を月300時間まで可能とする労使協定(36協定)を結んでいたなど、全国の病院で月100時間を超える36協定を結んでいることが明らかになっています。ほとんどの勤務医の先生方は、36協定の存在を知らずに働いているのではないのでしょうか?私も、開業して、職員に時間外労働をさせるため労使協定を結ばなければならず、それが労働基準法第36条に基づくので、36協定と呼ばれていることを初めて知りました。政府は、医師には正当な理由なしに診療を拒めない「応召義務」があるとして働き方改革実行計画の規制適用を5年間猶与するとしていますが、過労死ラインを超える労働の実態そのものが正当な理由であり、「応召義務」についても議論が必要ではないでしょうか。でも、開業してからのほうが、24時間待機状態という意味では、時間外労働は増えているし、時間外手当も出ないし、労災認定もされないしなあ…

個人的に今年一番印象深かったことは、ハンガリー国立歌劇場の来日公演「ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」」で、エディタ・グルベローヴァのルチアを聴けたことでしょうか。高校生の頃、ウィーンで凄いいコロラチュエラ・ソプラノが現れたと耳にし、彼女にルチアを歌わせる会が結成され実現したウィーン国立歌劇場での1978年のライブ盤LPを取り寄せ、その声のすごさに衝

撃を受けて以来、虜になりました。1987 年の初来日公演でのルチアの「狂乱の場」の aria に、さらに度肝を抜かれ、あの時のサントリーホールの熱狂といつ終わるか分からない拍手を今でも鮮明に覚えています。第一線で 40 年ルチアを歌い続けてきた彼女も 70 歳を超え、さすがに高音の

不安定さはありましたが、心に残る歌唱でした。

ということで、原稿執筆時点（11 月下旬）での私の予想する今年の漢字は「線」です。当たるかな。皆様、よいお年をお迎えください。

## 日医 FAX ニュース

### 2017 年（平成 29 年）11 月 28 日 2656 号

- 18 年度同時改定の財源確保へ気勢
- 7 対 1 等の新評価体系に各側大筋了承
- 「医療機関は総じて経営悪化」と総括
- 介護医療院の報酬・基準案を概ね了承

### 2017 年（平成 29 年）11 月 21 日 2655 号

- 有床診の「地域包括ケアモデル」評価へ
- 慢性期病棟データ提出、200 床以上大勢
- 入院時食事療養費、5 円増の 460 円に
- 専攻医の 1 次登録「都市部へ集中ない」

### 2017 年（平成 29 年）10 月 24 日 2654 号

- 医療と介護の「すみ分け」整理を
- 特養配置医師の早朝・夜間対応に新評価
- MR の情報提供、「規制強化が必要」
- オンジ製剤、暗示広告は撲滅を
- インフル総合対策を HP に掲載

### 2017 年（平成 29 年）11 月 14 日 2653 号

- 財務省の主張に「強い憤り」
- 安倍首相と面会、18 年度プラス改定要望
- 複数医療機関の訪問診療、評価対象拡大
- 財政審指摘に厚労省「実調は適切」

### 2017 年（平成 29 年）11 月 10 日 2652 号

- 「プラス改定必要なのは明白」
- 一般病院の損益率マイナス 4.2% に悪化
- 医師など常勤要件の見直しを提案
- 管理者要件、開業規制で白熱

### 2017 年（平成 29 年）11 月 3 日 2651 号

- 加藤厚労相に適切な財源確保を要望
- 遠隔診療への評価、議論は平行線
- 生活習慣病管理料の要件見直しで合意
- 医療提供施設との連携も可に

### 2017 年（平成 29 年）10 月 31 日 2650 号

- 「医療機関の経営状況など踏まえ議論」
- マイナス改定に強い危機感
- 病床機能報告の基準に「在院期間」
- 基礎的医薬品の対象拡大を審議